

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/10/10

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.77	0.26
JPY/THB	0.2140	0.0012
USD/JPY	153.07	0.38
EUR/THB	37.86	0.03
EUR/USD	1.1564	-0.0064
USD/CNH	7.138	-0.012
SGD/THB	25.20	0.10
AUD/THB	21.48	0.07
USD/INR	88.79	-0.01
USD Index	99.54	0.62

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.279	0.035
10Y (THB)	1.504	0.057
5Y (USD)	3.736	0.021
10Y (USD)	4.138	0.021

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,946.3	-97
WTI (Oil)	61.51	-1.04
Copper	10,867.5	198.5

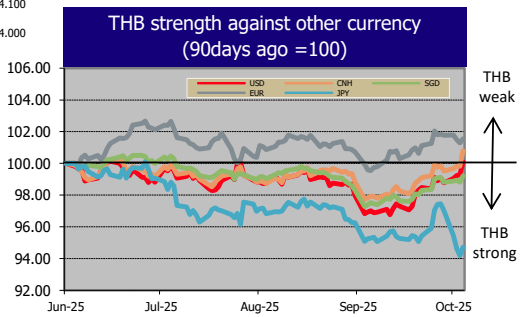
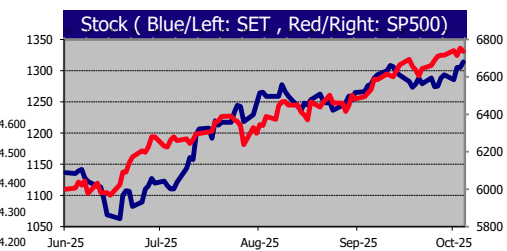
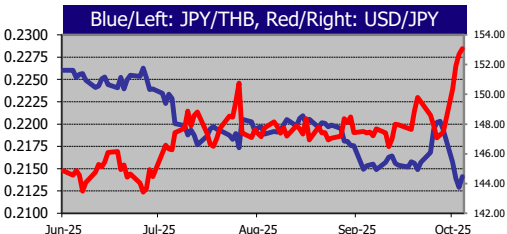
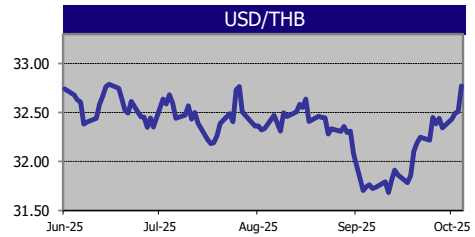
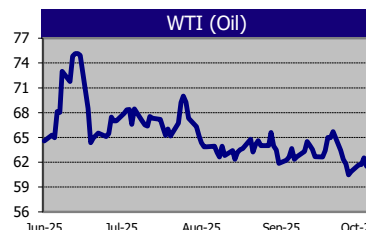
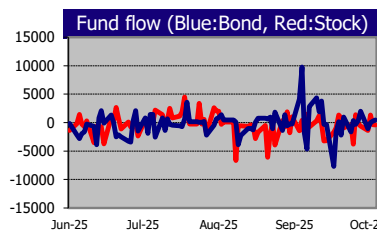
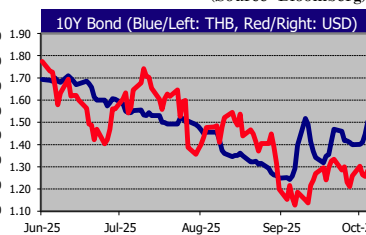
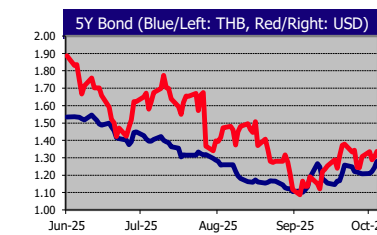
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,313.99	9.07
NIKKEI (JP)	48,580.44	845.45
DOW (US)	46,358.42	-243.36
S&P500 (US)	6,735.11	-18.61
SHCOMP (CN)	3,933.97	51.20
DAX(GER)	24,611.25	14.12

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(434)	-100.8
Bond net flow	455	174.8

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは上昇。32パーツ台半ばの水準で取引を開始。前日のタイ中銀による金融政策委員会にて、政策金利が据え置かれながらもハト派的なスタンスが維持されていることが確認されたこともあって、底堅く推移。そのまま海外時間に入り、金価格が下落する動きを背景にパーツ売りが加速。ドルパーツは32パーツ台後半まで上昇すると、終盤にかけても同水準を維持しながら32.77レベルで引けた。

●ドル円その他

昨日のドル円も上昇。152円台後半の水準で取引を開始。週初から続いた一方的な円売りの流れは一服し、152円台半ばでの推移となるも、海外勢が参入してくるとドル買いが進行し、153円ちょうど付近まで上昇。その後、高市自民党総裁より、「行き過ぎた円安を誘発するつもりはない」との発言が確認された場面では一時152円台前半まで急落する場面が見られるも、同水準では押し目買いも相応に見られ、早々に153円ちょうど付近まで戻す展開に。そのまま終盤にかけては153円台前半での推移が続き、結局153.07レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

所謂"高市トレード"の影響を受け円安がスピードを伴って進展する中、昨日ドル円は153円台を付け、円パーツは一時0.2120台を付けた。9月に進展したパーツ高が一服したのも束の間、再度円安・パーツ高へ振れており円パーツは直近安値を下抜け今世紀最安値を付けた。振り返れば、円パーツが現状の水準を付けたのは1997年まで遡り、アジア通貨危機後では初の水準となっている。金価格上昇に連れたパーツ高、その後の高市トレード、とタイミングが重なったとはいえ、2012年につけた円パーツの高値0.4160近辺から円の価値が対パーツで半減してしまったと考えると今更ながら空恐ろしさを感じる。しかしながら、日本も長いデフレから脱却し足元ではG7内で最も高いインフレ率となっている。高市新総裁はリフレ派と言われるものの、このまま円安が定着する場合は輸入物価上昇を通じ、国内のインフレ率が更に上昇するリスクが高まろう。そうなれば、国民の不満も高まり、政府としてもインフレ抑制に動かざるを得ず、日銀の利上げも早まる可能性はある。"高市トレード"の持続性については慎重に判断する必要があるようだ。(綱島)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.